

森林インストラクターの森活動：きのこの駒打ち

期日：2022年3月27日

参加者：池田、田崎、藤井、星野、本田、森永、横山、鈴木（計8名）

報告者：鈴木翔貴

心配された天気は問題なく、春の陽気の中での活動となりました。

私は森林インストラクターの森活動は初めての参加です。はじめに森永さんに森を案内して頂きました。

森にはアブラチャンの木が点在しており、黄緑色の可憐な花を咲かせていました。また、アオダイショウにも出会いました。艶やかな長い身体をくねらせて、地面の窪みに入っていました。暖かい日だったので、目が覚めて動きたくなったのかもしれませんが。多くの鹿の糞も発見しました。森永さんから、鹿の糞は全体が滑らかではなく、凸箇所があることを教えて頂きました。

キノコの駒打ち作業については、はじめに楢木に電動ドリルで穴を開けました。その後、きのこの菌の付いた、小さなコルクのような駒を穴に打ち込みました。楢木の樹種はアカメガシワ、アラカシ、ホオノキ、クヌギ、カツラ、ヒノキでした。ヒノキ以外の樹種については、3本のホダ木にそれぞれシイタケ、ヒラタケ、ナメコの菌を植菌し、ヒノキにはナメコのみを植菌しました。植菌したホダ木の一部は地中に埋め、残りは支柱に立て掛けました。樹種毎、またホダ木の保管方法毎にきのこの発生にどのような違いがあるか楽しみです。

作業の後は皆さんと一緒にお昼ご飯を頂きました。池田さんが皆さんにコーヒーを配って下さり、田舎パイもお裾分けして下さいました。山で頂くコーヒーと田舎パイは最高に美味しかったです。

